



SSH レターズ

長崎県立大村高等学校

～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/2 号 2018/05/8

SSH 事業が始まりました！

新入生にとっては、入学式、対面式、部活動編制そして初期指導・宿泊研修など、あわただし4月でしたが、その中で本校のオリジナル科目 SS 探究 I がスタートしました。まずは、宿泊研修に行く前に体育館で2コマ、宿泊研修中に1コマ、「学ぶということ」をテーマに、教科の異なる3名の教員がそれぞれ独自の視点でガイダンス講義を行いました。

生徒からは、「学びのスタートは疑問を持つこと」、「見方を広げることで可能性も広がる」といった感想を多く聞くことができました。

◆自然災害研修講座（対象：1 学年全学科）

4月20日（金）、島原半島ジオパーク協議会のボランティアスタッフの皆さんの協力のもと、2グループに分かれて、自然災害研修を実施しました。数理探究科を含む4クラスは、平成3年の火砕流で焼失した旧大野木場小学校被災校舎を、残りの4クラスは土石流被害の爪跡を生々しく保存している土石流被災家屋保存公園を訪れ研修を行いました。



写真 左：講師の大野希一先生の説明を熱心に聞いている生徒
右：火災による熱により変形した鉄製の窓枠

◆科学基礎（対象：1 学年数理探究科）

「科学基礎」は、討議、実験・実習、発表など、科学探究の過程を体験することにより、自然を多角的に見る見方や手法を習得するとともに、それらをさまざまな分野に適用する姿勢や能力を育成するために展開する本校独自の科目です。

第1回目は、「観る」ということをテーマに「アリの観察」を行いました。見慣れているはずの「アリ」ですが、実際に描くとなると生徒たちはかなり苦戦していたようです。以下は、生徒の振り返りからの抜粋です。

- ・同じアリを見ても、人によって見え方が、知識の有り無しで少しずつ違いがあった。
- ・実物を見るとときも意識して見ると、とても違って見えて、見方とかの大切さも知ることができた。
- ・脚の長さが違うのは何故だろうと思った。

1 学期の予定

1 自然現象の認識（観察・実験・調査・討議・演習・発表）

（1）認識の方法

「観る」

「測る」・・・紙1枚の厚さ・米粒の数を測る

「定性と定量」

「モデル化と検証」



（2）実験計画の作成と実施

「原因の予測と実験計画作成」

「実験の実施と結果の評価」

（3）整理・分析・まとめ

「調査と整理」

「分析とまとめ」